

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ストライダーズ

コード番号 9816 URL <http://www.striders.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 早川 良一

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 若原 義之

TEL 03-5777-1891

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,619	32.2	21	—	19	—	13	△77.9
26年3月期第2四半期	1,225	70.0	△45	—	0	—	61	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 9百万円 (△59.7%) 26年3月期第2四半期 23百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	0.16	0.16
26年3月期第2四半期	0.76	0.76

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第2四半期	3,194	—	1,162	—	35.6	13.54
26年3月期	2,309	—	1,140	—	48.2	13.32

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,137百万円 26年3月期 1,113百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	15.2	70	52.9	70	△23.4	50	△62.6	0.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	83,980,896 株	26年3月期	83,555,896 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	25,598 株	26年3月期	25,298 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	83,632,540 株	26年3月期2Q	80,404,328 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた金融政策による円安への転換と経済政策による企業業績の回復により、緩やかな景気の回復基調が継続したものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による消費の落ち込みや海外景気減速の警戒感等もあり、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、M&Aにより新たに株式会社倉敷ロイヤルアートホテルを連結子会社化し収益源の獲得を図る一方、経費等のコスト削減等に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高1,619百万円（前年同四半期比32.2%増）、営業利益21百万円（前年同四半期は営業損失45百万円）、経常利益19百万円（前年同四半期比2,274.8%増）、四半期純利益13百万円（前年同四半期比77.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成し、前年同期比を算出しております。

## ① I T 関連事業

I T 関連事業につきましては、モバイルリンク株式会社において、車載端末システムの新機種開発を行っており、既存顧客を中心にシステム入替を提案する営業活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の I T 関連事業の売上高は93百万円（前年同四半期比34.8%増）、営業損失は10百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）となりました。

## ② 企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、M&A グローバル・パートナーズ株式会社において、資産売却等のリストラによる収支改善や資金調達支援、M&A に関するコンサルティング業務等に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の企業再生再編事業の売上高は0百万円（前年同四半期比60.0%減）、営業利益0百万円（前年同四半期比88.7%増）となりました。

## ③ 不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、新設住宅着工戸数は緩やかな減少基調にあるものの、都市部では空室率の改善傾向が継続し、マーケットは堅調に推移いたしました。このような状況下において、株式会社トラストアドバイザーズは、ワンルームやコンパクトタイプの物件管理に特化し、入居率向上や徹底した滞納管理、賃料水準の維持を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業の売上高は884百万円（前年同四半期比25.8%増）、営業利益は41百万円（前年同四半期比102.4%増）となりました。

## ④ 食品関連事業

食品関連事業につきましては、有限会社増田製麺において、神奈川エリアにおける横浜家系ラーメンを中心とした中華麺等の製造販売を行っており、新規顧客の開拓や業務の効率化を図り、コスト削減等に努めてまいりましたが、大口顧客の自家製麺化等により取扱高が減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の食品関連事業の売上高は78百万円（前年同四半期比27.5%減）、営業損失は0百万円（前年同四半期は営業利益14百万円）となりました。

## ⑤ ホテル関連事業

ホテル関連事業につきましては、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテルを運営しており、政府の観光立国推進に向けた各種施策や景気回復に伴う訪日外国人数の増加等により、宿泊単価、稼働率共に高水準を維持いたしました。また、当第2四半期連結累計期間より平成26年6月に取得し、運営しております倉敷ロイヤルアートホテル（旧ホテル日航倉敷）が売上高に寄与しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間のホテル関連事業の売上高は564百万円（前年同四半期比64.9%増）、営業利益68百万円（前年同四半期比763.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が172百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,831百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,024百万円増加いたしました。これは主に連結子会社化した株式会社倉敷ロイヤルアートホテルの有形固定資産および無形固定資産がそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,194百万円となり、前連結会計年度末に比べ884百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は610百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が50百万円、未払金が22百万円、金利スワップが29百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,421百万円となり、前連結会計年度末に比べ767百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が541百万円、繰延税金負債が219百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ863百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,162百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加いたしました。これは主に新株予約権の行使により資本金および資本準備金がそれぞれ5百万円増加、四半期純利益13百万円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.6%（前連結会計年度末は48.2%）となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は960百万円となり、前連結会計年度末に比べ213百万円減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は63百万円（前年同期は3百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益20百万円、減価償却費20百万円、のれん償却額18百万円の計上によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は824百万円（前年同期は354百万円の収入）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が757百万円あったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は548百万円となり、前年同期と比べ518百万円増加しました。これは主に、長期借入れによる収入が630百万円あったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月14日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結累計期間において、株式会社倉敷ロイヤルアートホテルを株式の取得により連結子会社化したことに伴い、連結の範囲に含めております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,333,824	1,161,252
売掛金(純額)	96,456	110,355
有価証券	9,815	9,622
たな卸資産	13,918	31,525
繰延税金資産	11,355	11,355
その他	36,535	38,638
流動資産合計	1,501,905	1,362,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	334,480	918,342
土地	125,663	348,663
その他(純額)	9,054	18,799
有形固定資産合計	469,198	1,285,805
無形固定資産		
のれん	224,656	368,417
その他	6,409	5,502
無形固定資産合計	231,066	373,919
投資その他の資産		
投資有価証券	65,044	128,579
その他	42,079	43,132
投資その他の資産合計	107,123	171,712
固定資産合計	807,389	1,831,437
資産合計	2,309,294	3,194,187
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	74,493	67,112
短期借入金	54,900	-
1年内返済予定の長期借入金	78,396	128,688
未払金	53,919	76,287
未払法人税等	13,443	12,607
賞与引当金	13,285	17,630
預り金	87,699	87,512
金利スワップ	6,296	35,787
その他	132,147	184,746
流動負債合計	514,581	610,373
固定負債		
長期借入金	420,866	962,553
退職給付に係る負債	6,241	10,370
長期預り敷金保証金	225,556	228,168
繰延税金負債	1,087	220,375
固定負債合計	653,750	1,421,467
負債合計	1,168,331	2,031,840

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,403,421	1,409,409
資本剰余金	89,015	95,003
利益剰余金	△369,318	△355,731
自己株式	△2,958	△2,976
株主資本合計	1,120,159	1,145,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△836	27,732
繰延ヘッジ損益	△6,296	△35,787
その他の包括利益累計額合計	△7,133	△8,055
新株予約権	409	333
少数株主持分	27,526	24,363
純資産合計	1,140,962	1,162,347
負債純資産合計	2,309,294	3,194,187

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,225,275	1,619,967
売上原価	699,893	892,891
売上総利益	525,382	727,076
販売費及び一般管理費	571,316	705,698
営業利益又は営業損失(△)	△45,934	21,377
営業外収益		
受取利息	85	132
受取配当金	48,840	179
受取手数料	3,729	5,174
有価証券売却益	-	1,047
その他	5,042	5,966
営業外収益合計	57,697	12,499
営業外費用		
支払利息	4,818	8,093
有価証券評価損	2,116	-
新株発行費	2,425	-
租税公課	-	2,939
その他	1,566	3,017
営業外費用合計	10,927	14,050
経常利益	834	19,826
特別利益		
為替差益	66,087	-
その他	446	363
特別利益合計	66,534	363
特別損失		
事業譲渡損	4,360	-
特別損失合計	4,360	-
税金等調整前四半期純利益	63,008	20,190
法人税、住民税及び事業税	5,083	11,327
法人税等調整額	-	△1,486
法人税等合計	5,083	9,840
少数株主損益調整前四半期純利益	57,925	10,349
少数株主損失(△)	△3,583	△3,237
四半期純利益	61,509	13,586



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	57,925	10,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,554	28,569
繰延ヘッジ損益	-	△29,491
その他の包括利益合計	△34,554	△921
四半期包括利益	23,370	9,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,954	12,664
少数株主に係る四半期包括利益	△3,583	△3,237

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	63,008	20,190
減価償却費	14,364	20,541
のれん償却額	22,799	18,683
貸倒引当金の増減額(△は減少)	573	△457
その他の引当金の増減額(△は減少)	1,252	5,192
受取利息及び受取配当金	△48,925	△311
支払利息	4,818	8,093
有価証券売却損益(△は益)	—	△1,047
有価証券評価損益(△は益)	2,116	—
新株発行費	2,425	—
為替差損益(△は益)	△66,131	—
事業譲渡損益(△は益)	4,360	—
売上債権の増減額(△は増加)	34,885	9,582
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,077	△9,505
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,790	△36,706
預り金の増減額(△は減少)	△7,596	△1,187
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	1,789	2,612
その他	△29,530	47,525
小計	△40,657	83,206
利息及び配当金の受取額	48,925	311
利息の支払額	△4,734	△8,105
法人税等の支払額	△7,466	△12,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,932	63,359
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△94,464	△17,956
有価証券の売却による収入	71,138	19,435
有形固定資産の取得による支出	△7,955	△8,528
無形固定資産の取得による支出	△640	△385
定期預金の預入による支出	—	△100,500
定期預金の払戻による収入	—	60,000
投資有価証券の取得による支出	△10,001	△22,880
投資有価証券の償還による収入	418,909	—
投資有価証券の売却による収入	—	2,491
関係会社株式の売却による収入	5,016	—
連結子会社株式の追加取得による支出	△36,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△757,388
貸付金の回収による収入	298	731
差入保証金の差入による支出	△28	△60
差入保証金の回収による収入	8,445	350
投資活動によるキャッシュ・フロー	354,719	△824,691

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△54,900
長期借入れによる収入	30,000	630,000
長期借入金の返済による支出	△17,583	△38,021
自己株式の取得による支出	—	△17
新株予約権の行使による株式の発行による収入	18,878	11,900
新株予約権の発行による支出	△1,453	—
その他	△400	△530
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,440	548,431
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	△170
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	380,272	△213,071
現金及び現金同等物の期首残高	562,123	1,173,824
現金及び現金同等物の四半期末残高	942,395	960,752

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T 関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業	その他の 事業			
売上高									
外部顧客への 売上高	69,102	500	702,753	107,574	342,488	2,857	1,225,275	—	1,225,275
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	113	—	—	113	△113	—
計	69,102	500	702,753	107,687	342,488	2,857	1,225,389	△113	1,225,275
セグメント利益 又は損失 (△)	△16,608	37	20,537	14,775	7,917	869	27,528	△73,463	△45,934

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△73,463千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T 関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	93,173	200	884,020	77,970	564,603	1,619,967	—	1,619,967
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	59	—	59	△59	—
計	93,173	200	884,020	78,030	564,603	1,620,027	△59	1,619,967
セグメント利益 又は損失 (△)	△10,314	70	41,560	△489	68,401	99,227	△77,849	21,377

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△77,849千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、株式会社倉敷ロイヤルアートホテルの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ホテル関連事業」において1,075,055千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントから「その他の事業」を除外しております。これは、同事業のグローバル芸術家有限責任事業組合が所有しておりました絵画作品について売却が完了し、平成26年4月に清算終了したためであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ホテル関連事業」セグメントにおいて、株式会社倉敷ロイヤルアートホテルを連結子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては160,413千円であります。

## (重要な後発事象)

(第三者割当による新株発行及び新株予約権の発行)

当社は、平成26年10月17日開催の取締役会において、第三者割当による新株式及び新株予約権の発行について決議いたしました。なお、平成26年11月4日に新株式及び新株予約権の全額の払込を受けております。

## (1)新株発行の概要

①発行した株式の種類及び数	普通株式2,200,000株	
②払込金額	1株につき92円	
③払込金額の総額	202,400千円	
④増加した資本金及び資本準備金の額	増加した資本金 101,200千円 増加した資本準備金 101,200千円	
⑤割当先及び割当株式数	早川 良一 1,100,000株 福光 一七 550,000株 香港德威企業集団控股有限公司 550,000株	
⑥払込期日	平成26年11月4日	
⑦資金の使途	・株式会社倉敷ロイヤルアートホテルの修繕費用	55,000千円
	・成田ゲートウェイ株式会社の設備投資	10,000千円
	・収益基盤を支える安定収益事業への追加資金 (有限会社増田製麺の事業拡大資金)	30,000千円
	・収益基盤を支える安定収益事業への新規投資 (株式会社トラストアドバイザーズの不動産賃貸管理 事業及び当社投資先事業(コンテンツ開発)に付随 する事業への投資資金)	105,000千円

## (2)新株予約権の概要

①新株予約権の目的となる株式の種類及び数	普通株式14,200,000株(新株予約権1個につき100,000株)	
②新株予約権の数	142個	
③新株予約権の発行価額	総額6,390千円(新株予約権1個につき45,000円)	
④行使価額	1株当たり92円	
⑤当該発行による潜在株式数	14,200,000株(新株予約権1個につき100,000株)	
⑥新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額	1,312,790千円 (内訳) 新株予約権発行による調達額 6,390千円 新株予約権行使による調達額 1,306,400千円	
⑦募集又は割当方法	第三者割当	
⑧割当先及び割当数	早川 良一 32個(3,200,000株分) 福光 一七 34個(3,400,000株分) 香港德威企業集団控股有限公司 36個(3,600,000株分) マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社 40個 (4,000,000株分)	
⑨申込期間	平成26年11月4日	
⑩払込期日	平成26年11月4日	
⑪割当日	平成26年11月4日	
⑫新株予約権の行使期間	平成26年11月5日から平成29年11月4日までとします。ただし、当社が本新株予約権の全部又は一部を取得する場合、当社が取得する本新株予約権については、取得日の前日までとします。	
⑬資金の使途	・株式会社倉敷ロイヤルアートホテル建物設備更新及び ブランド独自商品開発費用	193,000千円
	・新規ホテル取得費用(自己資金負担額)	140,000千円
	・安定収益事業への新規投資(企業再生再編事業投資)	375,240千円
	・アジア圏における収益基盤確立のための投資 (スリランカ民主社会主義共和国を中心としたアジアへの投資)	300,000千円
	・アジア圏における収益基盤確立のための投資 (当社連結子会社であるモバイルリンク株式会社の事業拡大を目的とするアジア企業との合弁会社設立)	100,000千円
・アジア圏における収益基盤確立のための投資 (当社海外パートナー企業の株式取得)	200,000千円	